

# ESGデータブック 2022

## 算定範囲 Scope

・すかいらーく国内グループ会社  
(株式会社すかいらーくホールディングス、株式会社すかいらーくレストランズ、ニラックス株式会社、株式会社トマトアンドアソシエイツ、株式会社フロジャパン、株式会社すかいらーくD&M、株式会社ジャパンカーゴ)

・海外グループ会社を適用する場合はバウンダリを記載  
(雲雀國際股份有限公司、SKYLARK MALAYSIA SDN.BHD.、SKYLARK USA INCORPORATED)

## サステナビリティ関連KPI Sustainability KPIs

マテリアリティ	2030年KPIに向けた取り組み	主な指標	2030年KPI	2050年KPI
脱炭素	省エネの推進 再生可能エネルギーへの移行推進	CO2削減率(スコープ1・スコープ2)※1	2018年比▲50.4%	ゼロ
		CO2削減率(スコープ3)※1	2018年比▲30%	ゼロ
		CO2削減率(スコープ1・スコープ2・スコープ3)※1	2018年比▲37%	ゼロ
食品ロスの削減	食品ロスの削減 廃棄食材の再生利用推進	食品廃棄量	2018年比▲50%	2018年比▲75%
		再生利用等実施率	50%	75%
脱プラスチック	使い捨てプラスチックの使用量削減 環境配慮型素材への移行推進 廃棄プラスチックのリサイクル推進	使い捨てプラスチック使用量	2020年比▲50%	2020年比▲50%
		使い捨てプラスチックにおける石油由来素材比率	50%	ゼロ
水資源の保全	工場、店舗での取水量の削減	取水量	2018年比▲10%	2018年比▲20%
生物多様性	認証食材、認証素材の取り扱い拡大	国産野菜におけるJGAP又はそれに類する認証比率	50%	100%
		パーム油におけるRSPO認証比率	100%	100%
		紙製品におけるFSC/PEFC認証比率	75%	100%
食の安全・安心	品質保証体制の継続的なアップデート 適切な表示の継続	重大食品事故	ゼロ	ゼロ
		通販・外販品のリコール数	ゼロ	ゼロ
健康・栄養	商品のブラッシュアップ・プロモーションの進化 健康、栄養に配慮したメニューの取り扱い拡大 栄養成分表示の拡大	健康的な食生活に貢献する商品の提供	10品(1ブランド当)	20品(1ブランド当)
お客様志向	徹底的なQSC(品質・サービス・クレンリネス)の向上 「お客様の声」を経営に活かすための体制の強化 お客様の声に基づく商品・サービスの提供の推進	お客様総合満足度	90%	95%
DX	全社・全業態でのDXの推進	-	-	-
働き方改革	ダイバーシティの推進	女性管理職比率	30%	50%
	健康経営の推進	喫煙率	15%	ゼロ
	ワークライフバランスの推進	残業時間改善	20時間	ゼロ
		有給休暇取得率	80%	100%
責任ある調達	取引先調査の実施 人権、労働、環境、食の安全、倫理における 取引先管理の徹底	取引先のCSR調査実施	100%	100%
		取引先の人権デューデリジェンス実施	100%	100%

※KPIは海外グループ会社を含む

※2018年比、2020年比の年数は、それぞれ基準年

※1 (スコープ1・スコープ2)は、2020年にKPI目標を設定、(スコープ3)と(スコープ1・スコープ2・スコープ3)は、2022年にKPI目標を設定

## 2022年活動レビュー 2022 Activity Review

	マテリアリティ	主な活動内容
環境	脱炭素	GHG排出量 スコープ1～3の算出。 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言への賛同を表明。TCFDコンソーシアムにも参画。 TCFDが情報開示を求める「シナリオ分析」を作成。
	食品ロスの削減	部門横断で取り組みを推進する「食品廃棄削減分科会」の発足。
	脱プラスチック	宅配・持ち帰り用カトラーを木製・竹製に切り替え。 店内で使用するストローを紙製に切り替え。 「第12回バイオマス製品普及推進功績賞」を受賞。
社会	食の安全・安心	残留農薬検査を開始。
	お客様志向	お客様の声を経営に活かすためQSC向上委員会を設置。
	DX	約2,100店舗に3,000台の配膳ロボットを導入。 2月に本部DXプロジェクトを発足し、本部業務のペーパーレス化を推進。
	働き方改革	部門横断で取り組みを推進する「人権分科会」を発足し、人権方針を策定。
責任ある調達		海産物の一部の調達に関してISO20400(持続可能な調達に関する国際規格)を取得。 サプライヤーに対し人権尊重・地球環境保全についての理解と実践を求めするために、CSR調査を実施し、 調達ガイドラインの合意書への署名を依頼。
ガバナンス・その他	KPI設定	マテリアリティ毎のKPIを社内各部門で設定。
	方針策定	各種方針の策定。(脱炭素方針、脱プラスチック方針、食品ロス削減方針、贈収贈防防止方針)
	寄付・募金	子どもの遊び場支援募金を基に、従業員ボランティアにより児童養護施設「調布学園」に遊具を設置。 「ウクライナ人道支援募金」でお預かりした約3,100万円を、国連難民高等弁務官事務所に寄贈。
	ESG評価	「CDP気候変動」B評価に認定。 「FTSE Russell」ESG Rating 4.1点を獲得。 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定。

## 環境 Environment

方針 Policy	
環境方針	<a href="https://corp.skylark.co.jp/sustainability/environment/environmental_policy/">https://corp.skylark.co.jp/sustainability/environment/environmental_policy/</a>
脱炭素方針	<a href="https://corp.skylark.co.jp/sustainability/environment/de-carbonization/">https://corp.skylark.co.jp/sustainability/environment/de-carbonization/</a>
食品ロス削減方針	<a href="https://corp.skylark.co.jp/sustainability/environment/food_loss/">https://corp.skylark.co.jp/sustainability/environment/food_loss/</a>
脱プラスチック方針	<a href="https://corp.skylark.co.jp/sustainability/environment/waste_reduction/">https://corp.skylark.co.jp/sustainability/environment/waste_reduction/</a>
生物多様性方針	<a href="https://corp.skylark.co.jp/sustainability/environment/biodiversity/">https://corp.skylark.co.jp/sustainability/environment/biodiversity/</a>

脱炭素 Decarbonation					
項目	対象	単位	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
CO <sub>2</sub> 排出量：スコープ1	スコープ1	t-CO <sub>2</sub>	112,462	98,913	★104,683
	スコープ1の原単位	t-CO <sub>2</sub> /百万円	0.40	0.38	0.36
CO <sub>2</sub> 排出量：スコープ2	スコープ2（ロケーション基準）	t-CO <sub>2</sub>	244,445	211,457	219,722
	スコープ2（マーケット基準）	t-CO <sub>2</sub>	228,137	194,595	★195,136
	スコープ2の原単位（マーケット基準）	t-CO <sub>2</sub> /百万円	0.81	0.76	0.67
CO <sub>2</sub> 排出量：スコープ3	スコープ3	t-CO <sub>2</sub>	770,012	702,978	760,150
	スコープ3の原単位	t-CO <sub>2</sub> /百万円	2.75	2.73	2.60
	1. 購入した製品・サービス	t-CO <sub>2</sub>	578,427	529,405	★575,457
	2. 資本財	t-CO <sub>2</sub>	51,722	43,411	51,785
	3. スコープ1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動	t-CO <sub>2</sub>	63,112	55,680	59,162
	4. 輸送、配送（上流）	t-CO <sub>2</sub>	44,708	42,439	43,193
	5. 事業から出る廃棄物	t-CO <sub>2</sub>	4,585	4,402	4,590
	6. 出張	t-CO <sub>2</sub>	801	774	647
	7. 雇用者の通勤	t-CO <sub>2</sub>	21,015	21,080	19,933
	8. リース資産（上流）	t-CO <sub>2</sub>		対象外	
	9. 輸送、配送（下流）	t-CO <sub>2</sub>	11	12	35
	10. 販売した製品の加工	t-CO <sub>2</sub>		対象外	
	11. 販売した製品の使用	t-CO <sub>2</sub>		対象外	
	12. 販売した製品の廃棄	t-CO <sub>2</sub>	2,227	2,610	2,202
	13. リース資産（下流）	t-CO <sub>2</sub>		対象外	
14. フランチャイズ	t-CO <sub>2</sub>	3,404	3,165	3,146	
15. 投資	t-CO <sub>2</sub>		対象外		
CO <sub>2</sub> 排出量：合計	スコープ1,2の合計（マーケット基準）	t-CO <sub>2</sub>	340,599	293,508	299,819
	スコープ1,2の原単位（マーケット基準）	t-CO <sub>2</sub> /百万円	1.22	1.14	1.03
	スコープ1,2,3の合計（マーケット基準）	t-CO <sub>2</sub>	1,110,611	996,486	1,059,969
	スコープ1,2,3の原単位（マーケット基準）	t-CO <sub>2</sub> /百万円	3.97	3.87	3.63
エネルギー使用量	使用量	原油換算kl	182,809	162,104	172,935
	原単位	kl/百万円	0.65	0.63	0.59
電力使用量	使用量	千kwh	515,069	462,442	496,182
	原単位	千kwh/百万円	1.84	1.80	1.70
	非再生可能エネルギー使用量	千kwh	515,069	462,442	495,721
	再生可能エネルギー使用量	千kwh	-	-	461
	再生可能エネルギー比率	%	-	-	0.1

※CO<sub>2</sub>排出量は、GHG プロトコルの各種基準類に準拠して算出。

★は第三者検証項目（2022年から、外部の第三者である一般社団法人 日本能率協会(JMA)さまより該当年度について検証を受けています）

水資源の保全 Preservation of water resources					
項目	対象	単位	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
取水量	総取水量	t	6,276,360	5,609,982	5,883,307
	上水取水量	t	5,992,810	5,328,112	5,579,193
	地下水取水量	t	283,550	281,870	304,114
	原単位	t/百万円	22.42	21.81	20.13
排水量	総排水量	t	6,141,061	5,479,891	5,768,218
	下水道放流	t	5,520,786	4,947,016	5,214,139
	河川放流	t	620,276	532,876	554,079

食品ロス/廃棄物の削減 Reduction of food loss/waste					
項目	対象	単位	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
食品廃棄量	食品廃棄の発生量	t	27,340	26,076	26,959
	食品廃棄の再生利用量	t	7,342	7,916	8,865
	食品廃棄量	t	19,207	17,156	16,919
	食品廃棄量原単位	kg/百万円	68.60	66.69	57.88
	食品廃棄の再生利用等実施率	%	35.1	37.9	44.9
食品以外廃棄量	食品以外廃棄の発生量	t	35,118	32,320	31,854
	食品以外廃棄の再生利用量	t	7,996	7,354	8,155
	食品以外廃棄量	t	27,122	24,966	23,699
	有害廃棄の発生量※1	t	0	0	5
廃棄量合計	廃棄物の発生量	t	61,667	57,392	57,637
	廃棄物の総再生利用量	t	15,338	15,270	17,019
	廃棄物の総廃棄量	t	46,329	42,122	40,618

※1 PCB（ポリ塩化ビフェニル）発生量を測定

脱プラスチック Plastics removal					
項目	対象	単位	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
使い捨てプラスチック使用量	使用量	t	4,282	4,806	4,273
	石油由来素材比率	%	95	87	86
包装材使用量	包装材合計 ※1	t	4,188	4,497	4,128
	紙繊維包装材	t	1,088	1,073	1,060
	プラスチック包装材	t	2,383	1,971	1,738
	環境配慮型包装材 ※2	t	717	1,453	1,330
	プラスチック包装材使用重量原単位	kg/百万円	46.6	31.6	29.0
	包装材リサイクル重量	t	1,521	1,254	1,118

生物多様性 Biodiversity					
項目	対象	単位	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
認証製品の使用率	国産野菜におけるJGAPまたはそれに類する認証	%	5.0	5.0	5.0
	パーム油におけるRSPO認証	%	0	0	0
	紙製品におけるFSC/PEFC認証製品	%	0	0	28.0
環境関連の法令遵守	環境関連の罰金・科料	円	0	0	0

※1 包装材数値は、容器リサイクル法報告に準ずる

※2 環境配慮型包装材とは、素材の一部にタルク、バイオマス等を使用したもの。

## 社会 Social

方針 Policy	
品質憲章	<a href="https://corp.skylark.co.jp/sustainability/basic_policy/quality_charter/">https://corp.skylark.co.jp/sustainability/basic_policy/quality_charter/</a>
人権方針	<a href="https://corp.skylark.co.jp/sustainability/governance/human_rights/">https://corp.skylark.co.jp/sustainability/governance/human_rights/</a>
調達方針	<a href="https://corp.skylark.co.jp/sustainability/environment/supply/">https://corp.skylark.co.jp/sustainability/environment/supply/</a>
お客様志向自主宣言	<a href="https://corp.skylark.co.jp/sustainability/basic_policy/customer_oriented/">https://corp.skylark.co.jp/sustainability/basic_policy/customer_oriented/</a>
健康経営宣言	<a href="https://corp.skylark.co.jp/sustainability/basic_policy/health/">https://corp.skylark.co.jp/sustainability/basic_policy/health/</a>

従業員 Employees					
項目	対象	単位	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
総従業員数 【連結】	女性	人	60,830	59,895	59,475
	女性割合	%	61.3	61.2	62.5
	男性	人	38,403	37,973	35,685
	合計	人	99,233	97,868	95,160
年齢別割合 (全従業員)	30歳未満	%	55.8	56.2	57.1
	30～50歳未満	%	26.1	24.6	22.7
	50歳以上	%	15.8	16.5	17.0
	65歳以上	%	2.3	2.7	3.2
	平均年齢	歳	32.4	32.5	32.4
人種・国籍毎の割合 (全従業員)	日本	%	97.7	98.1	98.0
	ベトナム	%	0.3	0.3	0.3
	ネパール	%	0.1	0.1	0.1
	中国	%	0.1	0.1	0.1
	その他	%	1.8	1.5	1.5
	外国人雇用率	%	2.5	2.1	2.0
	外国人雇用数	人	2,213	1,832	1,904
正社員数 【連結】	女性	人	863	815	818
	女性割合	%	14.0	13.7	14.1
	男性	人	5,298	5,137	4,986
	合計	人	6,161	5,952	5,804
クルー数 (パート・アルバイト) 【連結】	女性	人	58,615	57,321	59,916
	女性割合	%	63.0	62.4	67.1
	男性	人	34,457	34,595	29,440
	合計	人	93,072	91,916	89,356
障がい者雇用	非正社員比率	%	93.8	93.9	93.9
	雇用人数	人	470	513	579
	雇用率	%	2.3	2.9	3.3
役員数	女性	人	1	2	3
	女性割合	%	10.0	20.0	30.0
	男性	人	9	8	7
	合計	人	10	10	10
上級管理職数 (ディレクター職以上)	女性	人	3	2	2
	女性割合	%	4.8	3.5	3.2
	男性	人	60	55	60
	合計	人	63	57	62

従業員 Employees					
項目	対象	単位	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
管理職数 (マネージャー以上)	女性	人	280	308	291
	女性割合	%	9.3	10.2	9.8
	男性	人	2,741	2,723	2,678
	合計	人	3,021	3,031	2,969
新入社員数	女性	人	94	52	93
	女性割合	%	36.0	41.3	38.4
	男性	人	167	74	149
	合計	人	261	126	242
採用コスト	社内採用数	人	169	62	121
	平均コスト	円/人	431,942	680,280	387,108
平均勤続年数	女性	年	6.4	7.4	7.7
	男性	年	17.1	17.9	18.3
	合計	年	15.7	16.5	16.9
平均給与	女性	円	4,105,044	4,224,070	4,316,317
	男性	円	5,492,794	5,550,838	5,656,873
	合計	円	5,314,284	5,377,105	5,479,952
年間研修	のべ研修時間	時間	215,814	99,600	193,459
	平均研修時間	時間/人	46.3	22.1	45.1
	平均研修日数	日/人	6.0	5.0	6.5
	研修受講者の割合	%	80.5	88.7	85.9
	のべ研修・トレーニング費用	円	17,070,535	7,930,724	8,850,070
資格取得支援 ※1	平均研修・トレーニング費用	円/人	3,659	1,763	2,061
	資格数	資格	3	3	3
従業員離職率	対象者	人	248	199	157
	離職率	%	5.6	6.3	6.7
従業員の健康	自己都合離職率 ※2	%	5.0	5.8	6.0
	健康診断受診率	%	100	100	100
年間労働時間	喫煙率	%	32.8	29.8	25.0
	所定労働時間	時間/人	1,984	1,984	1,984
	平均所定外労働時間	時間/人	254	247	348
有給休暇取得率	平均月間残業時間	時間/人	21	20	29
	合計	%	60.0	63.0	62.0
育児休暇取得率	女性	%	95.9	96.2	97.6
	男性	%	7.7	5.3	8.3
	合計	%	47.9	53.0	56.4
労働組合加入	加入人数	人	16,955	16,337	16,264
	加入比率 ※3	%	17.1	16.7	17.1
持株会加入数 ※4	株式会社すかいらくホールディングス	人	220	210	199
	加入比率 ※4	%	37.4	35.7	34.1
	グループ会社	人	977	904	847
	加入比率 ※4	%	17.5	16.9	16.2
外部評価	くるみん認定取得 ※5	-	○	○	○
	トモニマーク認定取得 ※6	-	○	○	○

お客様 Customers					
項目	対象	単位	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
製品回収実績	外販・通販品のリコール件数	件	-	0	0
健康的な食生活に貢献する商品の提供	健康的な食生活に貢献する商品数 ※7	品/ブランド	3	2	2
	サイズ選択が可能なメニュー数	品	-	-	168
	全商品に占める割合	%	-	-	15.4
お客様総合満足度	お客様アンケートに基づく満足度 ※8	%	-	73	81

サプライヤー Suppliers					
項目	対象	単位	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
サプライヤーモニタリング・監査	サプライヤー総数	社	573	440	464
	一次サプライヤー数	社	318	294	277
	主要な一次サプライヤー数 ※9	社	21	16	17
	評価したサプライヤー数	社	103	75	78
	実施率	%	18.0	17.0	16.8

※「役員数」以下の項目は正社員を対象とする

※数値は12月末時点のデータ

※1 資格取得支援：会社が指定する資格試験に合格した場合、受験料の全額を会社が支援

※2 自己都合離職率：対象は、懲戒解雇・休職期間満了・定年退職

※3 労働組合加入比率：労働組合加入人数を連結総従業員数（パート・アルバイト含む）で割ったもの

※4 持株会会員比率：持株会会員人数を各社ごとの正社員人数で割ったもの

※5 くるみん：次世代育成支援対策推進法に基づき、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定

※6 トモニマーク：仕事と介護を両立できる職場環境の整備促進に取り組むことを示すもので厚生労働省の認定

※7 健康的な食生活に貢献する商品の提供は、主要4ブランド（ガスト、バーミヤン、ジョナサン、夢庵）の数値

※8 お客様総合満足度：サービス品質や商品品質のパフォーマンスを顧客調査により測定したもの








※9 主要な一次サプライヤー数：ESGに影響を与える、またはビジネス上の関連性が高い、リスクがあると特定されたサプライヤー数

## ガバナンス Governance

方針 Policy	
贈収賄防止方針	<a href="https://corp.skylark.co.jp/sustainability/governance/anti-bribery/">https://corp.skylark.co.jp/sustainability/governance/anti-bribery/</a>

コーポレートガバナンス Corporate governance					
項目	対象	単位	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
社会貢献活動 ※1	募金額	円	31,531,420	13,880,475	40,726,184
	現金寄付額	円	31,531,420	6,437,124	33,869,184
	現物寄付額	円(金額換算)	0	7,443,351	6,857,000
	就業時間内に従業員が社会貢献活動へ参加した時間	円(金額換算)	0	863,656	872,944
	社会貢献活動の管理費用	円	0	81,810	103,474
内部通報	窓口への相談件数	件	448	401	431
各種会議体実施回数	取締役会実施回数	回	実開催12回 書面11回	実開催14回 書面12回	実開催13回 書面10回
	経営会議「旧執行役員会議」実施回数	回	実開催32回	実開催48回	実開催48回
	監査等委員会「旧監査役会」実施回数	回	実開催13回	実開催13回	実開催13回
	リスクコンプライアンス委員会実施回数	回	実開催5回 書面2回	実開催6回 書面3回	実開催6回 書面7回
	サステナビリティ委員会実施回数	回	実開催1回 書面実施無	実開催2回 書面2回	実開催5回 書面3回
	指名コミティ実施回数	回	実開催9回 書面実施無	実開催5回 書面2回	実開催5回 書面1回
	報酬コミティ実施回数	回	実開催9回 書面1回	実開催5回 書面1回	実開催4回 書面2回

※1 社会貢献活動の現物寄付額：子どもの遊び場支援募金による児童養護施設への遊具の寄贈額

ESG評価・外部格付け ESG Assessment and External Ratings				
 FTSE Blossom Japan Index	 FTSE Blossom Japan Sector Relative Index	 2023 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)	 S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数	 Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index
 2023 Sompo Sustainability Index SOMPOサステナビリティ・インデックス	 NIKKEI SDGs 経営調査 2023 ★★★★★ 日経SDGs経営調査2023			